



東京女子医科大学東医療センターの移転と新病院

東京女子医科大学東医療センターが今年中に足立区への移転を予定しています。移転後は新しい病院が開院します。進捗状況等について委員会で報告がありました。

東京都は4月1日付で新病院(正志会)に対し、当初の申請どおり一般病床240床(うち災害100床、感染症50床)を配分しました。

医師、看護師その他スタッフの雇用計画を立てています。日本医科大学病院と連携し、外来診療に必要な体制を確保するとともに、各病棟に医師を配置します。

荒川区は正志会と経費の負担や建物などの賃料について、現在協議中です。9月末を目途に合意を目指し、11月には基本協定を締結したいとしています。

一般病床数: 240床

ICU病床、地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床などを整備する)

災害拠点機能: 指定要件を満たし申請を行う

72時間程度の自家発電機用燃料、医療用水、食料などの備蓄品確保を行う

診療科目:

内科、外科、小児科、救急科、整形外科、産科、婦人科
そのほかの診療科目を総合的に整備する

区は「産科については、感染症対応の役割を担いながら、分娩まで取り扱うか、今後も正志会と調整を継続する。」としています。同じ病院、同じスタッフのもとで出産をしたいという声をたくさん伺っています。尾久地域にお住まいの方は女子医で生まれた、出産したという方が本当に多いです。引き続きこの地で出産ができるようにしてほしいと委員会で改めて要望しました。

ちなみに現在、尾久地域で出産ができる病院は女子医大東医療センター以外にはありません。

宮前公園第三整備地区は

女子医付近の第三整備地区は災害時に救護活動や延焼防止、避難経路としての機能を担います。(右図)

東京女子医科大学東医療センターの移転は未定

2021年度中の移転と公表されていますが、荒川区にも具体的な日程は示されていません。足立区の女子医大新病院は7月竣工予定です。区の担当者は年内にはオープンするのではないかとっていますが、どうでしょうか。

西尾久の新病院開業は女子医移転後4か月後か

女子医大が移転後、改修工事なども行われるために、4か月程度は外来の空白期間ができるのではとされています。

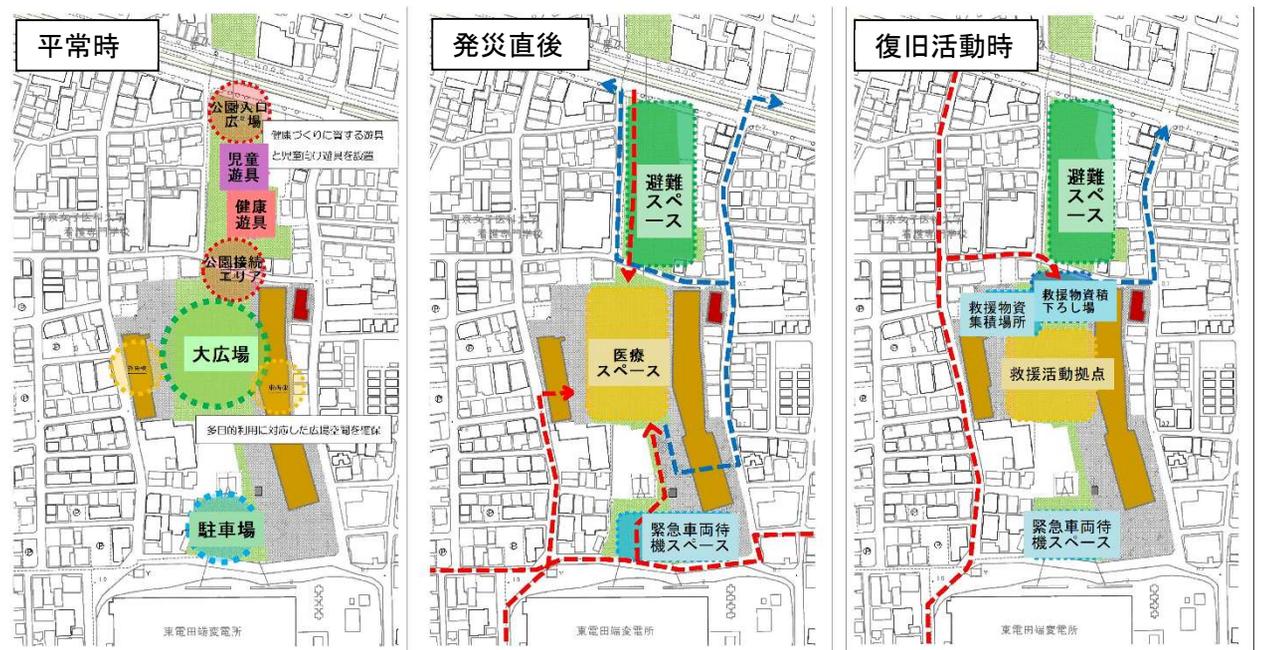
近隣の薬局や商店・飲食店の調査と交通手段の検討を

空白期間、女子医大前にある院外薬局はどうするのか、区は詳細を把握していませんでした。今はかかりつけ薬剤師の制度もあり、病院は移転しても薬局は変えないという方もいます。薬局以外にも商店や飲食店の皆さんへのケアはどうなるのでしょうか。区の中小企業診断士が昨年末にヒアリングをしていますが、地域の声を聞いてほしいです。

また、現在女子医大に通院している方が足立へ通院するとなると、公共交通機関で行くには舍人ライナーか都バスを利用しなくてはなりません。直通バスの運行など、患者さんの移動についてもケアが必要になるのではないのでしょうか。

ご意見をお寄せください。

↓ 宮前公園第三整備地区各時点のゾーニング及び施設計画



感染拡大第4波から区民の命、暮らしを守る緊急申入れ

4月20日に西川区長あてに緊急申入れを行いました。当日は北川副区長が対応しました。基礎自治体・荒川区独自の対策を講じるよう求めました。

感染封じ込めのため国には大規模検査と補償、医療機関への減収補填と病床確保を求めるよう、また東京都には実効性のあるスクリーニング検査を拡充するなど求めるよう要望しました。

荒川区独自のPCR検査に対する助成の創設や、医療従事者への支援実施、連休中の保健所や区の体制確保を求めました。

ワクチン接種に関しては、医師会と協議のうえ、個別医療機関での接種や訪問接種の具体化を急ぐこと、集団接種の

みならば会場へ行けない区民にはタクシー券を配布するなど具体化するよう求めました。

同時に、暮らしと生業を守るため区民と事業者に対する支援体制を構築することを求めました。申し入れに関しては区議団ニュースにも掲載していますので、あわせてご覧ください。



荒川区の新型コロナウイルスの感染状況

緊急事態宣言が4月25日から5月11日(予定)で発出されました。ご存知の通り、変異種が猛威をふるっています。感染者数が荒川区でも増え続けています。

ご高齢の皆さんへのコロナワクチンが5月中旬からスタートしますが、現役世代の接種がいつになるかさえ示せない状況です。PCR検査を拡充して、スクリーニング検査で無症状の感染者を保護していくことが今必要なのではないのでしょうか。

感染者の療養等の状況 (4月21日時点)

入院	65名
宿泊療養	27名
自宅療養	25名
退院等	1,995名
死亡	20名
計	2,132名

1 PCRセンター実施分

	実施回数	検査人数	陽性者数	陽性率
令和2年度	112回	2,263人	164人	7.25%
令和3年度	6回	106人	13人	12.26%
合計	118回	2,369人	177人	7.47%

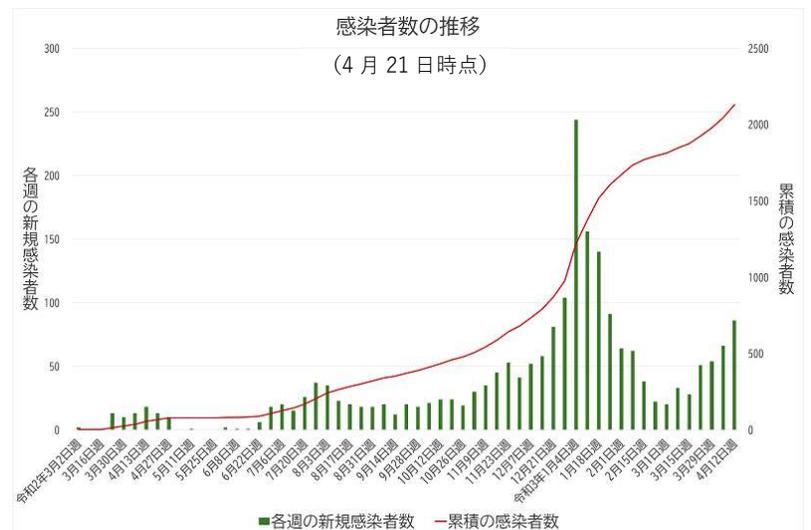
2 その他医療機関等実施分

	検査人数	陽性者数	陽性率
令和2年度	4,929人	431人	8.74%
令和3年度	2,787人	228人	8.18%
合計	7,716人	659人	8.54%

※注釈 令和3年度分から、区内各医療機関分も計上。人数には区外在住者も含む

1・2の合計

	検査人数	陽性者数	陽性率
令和2年度計	7,192人	595人	8.27%
令和3年度計	2,893人	241人	8.33%
合計	10,085人	836人	8.29%



自宅療養者への支援

自宅療養の方については、区が支援を行っています。

* 保健所が、健康状態の経過観察(フォローアップ)のために定期的に電話で連絡しています。

* 健康状態の把握のため、パルスオキシメーター(重症化の目安となる血中酸素飽和度を測定する器具)を貸し出しています。

* 希望する方には、食料配達を行っています。

【問合せ】荒川区保健所 電話:03-3802-3111

健康部保健予防課感染症予防係 (内線:430)

定例☆法律相談
 何でも・お気軽にどうぞ
5月21日(金) 18時半~20時
北村あや子事務所